

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習 F5 (Seminars F5)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ハンナ・アーレント『暴力について』を読む		
担当者名 (Instructor)	バルダリ, F. (BALDARI FLAVIA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW2810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

このゼミではハンナ・アーレントの政治的思想にアプローチするため、『暴力について』に収集されている「市民的不服従」と「暴力について」を読み進めます。

この授業の目的は、1) 哲学的な原文を読んで、その意味や本書で言及されている諸概念が持つ意味を理解すること、2) 歴史的な文脈を明らかにし、それが本書にどのような影響を与えたのかに注目すること、3) 議論を通じて、取り扱う原文が現代において持つ意味について検討することです。

We will approach Hanna Arendt's political philosophy in this class by reading "Civil Disobedience" and "On Violence."

The goals of the class are: 1) to read and understand a philosophical text, 2) to understand the philosophical concepts discussed by the author, 3) to contextualize the text, 4) to discuss if and how the text is still relevant today

授業の内容 (Course Contents)

本ゼミでは、ハンナ・アーレント(1906-1975)の「市民的不服従」(1970)と「暴力について」(1969)を読みます。アーレントはドイツのユダヤ人家庭に生まれ、マルティン・ハイデガー、カール・ヤスパースとエドムント・フッサールのもとで哲学を学びました。30年代にナチスを逃れ、フランスのパリに亡命したのちアメリカに渡り(1941年)、パークレー、プリンストン、シカゴ大学で教鞭を取りました。

本授業ではハンナ・アーレントの原文を読みながら、「不服従」、「暴力」や「権力」といった概念を理解するだけでなく、アーレントは政治哲学者の立場からアメリカの60年代と70年代の危機について論じているため、20世紀の歴史的な文脈に十分注目する必要があります。

また、「行為」や政治的なものというアーレントの思想における概念も繋がっているため、アーレントの他の論文にも議論を広げます。テキストをゆっくり読むので、哲学的な概念を深く考察する予定です。

授業の前半は発表者の報告(テキストの要約および考察)、後半は報告をもとに、参加者の間でディスカッションを中心に進めます。哲学的な概念を理解し、問いを立てるための基礎的なトレーニングも実践します。

In this seminar, we will read Anna Arendt's (1906-1975) "Civil Disobedience" (1970年度) and "On Violence" (1969年度).

Arendt was born into a Jewish family in Germany and studied philosophy with Martin Heidegger, Karl Jaspers, and Edmund Husserl. In the 30s, she fled the Nazis, first to Paris and then to the United States (1941). She taught at Berkeley, Princeton, and the University of Chicago.

In this class, we will not only read and try to understand Hannah Arendt's original texts, but we will also need to pay close attention to the historical context of the 20th century, as Arendt discusses the crisis of the 60s and 70s in America from the standpoint of a political philosopher.

We will extend our discussion to other books by Arendt since concepts such as "action" or her idea of politics are connected with the content of this class. We will go through the text slowly so that we can deal with philosophical concepts in depth.

The first half of the class will be focused on the presenter's report (summary and discussion of the text), and the second half to the discussion among the participants.

The class will also provide basic training for understanding philosophical concepts and formulating questions.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス(授業の進め方、発表とレジュメの作り方、ディスカッションの方法など) 報告への練習① 問いを立てましょう
2. 担当者による報告と議論
3. 担当者による報告と議論
4. 担当者による報告と議論
5. 担当者による報告と議論
6. 担当者による報告と議論
7. 担当者による報告と議論
8. 担当者による報告と議論
9. 担当者による報告と議論

10. 担当者による報告と議論
11. 担当者による報告と議論
12. 担当者による報告と議論
13. 担当者による報告と議論
14. 総括ディスカッション

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

予習:参加者は全員、事前に次回のテキストを読んでコメントペーパーを作成する。報告担当者はレジュメを用意する。
レジュメとコメントペーパーの提出は毎週の火曜日の夜までです。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

発表(40%)/議論への参加度(30%)/課題提出(30%)

*参加者数によって、計画は少し変わる可能性もあります。

テキスト(Textbooks)

1. ハンナ・アーレント、『暴力について』、みすず書房

参考文献 (Readings)

参考文献などはガイダンスの時、お知らせします。

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)